

民主党の暴走を許さない 責任ある野党へ

～ 参院選の結果を受けて 谷垣総裁の会見から ～

“民主党政権の10カ月”への審判

今回の参議院選挙には、民主党政権の10か月に対する有権者の審判という大きな意味がありました。これについては、民主党が10議席減らした結果から見ても、民主党の数々の迷走や暴走に対して、有権者からノーという厳しい審判が下されたことは明確です。

“自民党は変わるか”への審判

もうひとつ、わが党が再生への道を作れるかどうかを審判していただく意味合いがありました。これについては、再生の第一歩ができた、緒についたとのご判断をいただけたのではないのでしょうか。今回の選挙では、公募による候補者が18名、若い候補者もたくさんいました。こうした若い候補者が懸命に頑張る姿、これもわが党が変わった一つの表れでした。

しかし、党再生はまだ道半ばですから、政策面についても、党の体質改善という点においても、さらなる努力が必要なことは言うまでもありません。

“責任ある野党”へ新たなスタート

私たちは、この有権者の意を受け、今後国会でしっかり議論し、民主党の迷走・暴走を正していかなければなりません。国会を本来の姿に戻し、きちんとした議論を行って、批判すべき点はしっかり批判し、国民のためになることは全力で協力していく。われわれは、参議院のチェック機能を十分に発揮して、“責任ある野党”を貫く決意です。